

雌阿寒岳と雄阿寒岳：夫婦の山

日本の民話によると、雌阿寒岳と雄阿寒岳は夫婦だと考えられています。日本では同じエリアに目立つ二つの山がある場合はそう考えられることがよくあります。

一般的には大きい方の山が妻だと考えられます。雌阿寒岳（1,499m）は雄阿寒岳と比べ、標高が高く、10つの山頂を有しており、アイヌ語では「女の山」という意味で「ポンマチネシリ」と呼ばれています。一方、雄阿寒岳（1,370m）は雌阿寒岳よりも標高が低く、山頂も1つだけしかなく、アイヌ語では「男の山」という意味で「ピンネシリ」と呼ばれています。また、雄阿寒岳の山頂が約3000年前～7000年前に形成されたのに対して、雌阿寒岳は約2500年前に形成されたと言われています。

雌阿寒岳を見る最高の場所の一つは、展望デッキがあるオンネトー湖西部の湖畔です。雄阿寒岳は阿寒湖温泉街や阿寒湖の湖畔から目にすることができます。左右が多少的な円錐状の山なので、簡単に見つけることができるはずですが。